日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	プロジェクトマネジメント
科目基礎情報				
開設学科	ITスペシャリスト科	コース名	セキュリティ専攻	開設期 後期
対象年次	3年次	科目区分	必修	時間数 30時間
単位数	2単位			授業形態 講義
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する			
担当教員情報				
担当教員	黨 宏明		実務経験の有無・職種	有・システムエンジニア
学習目的				
プロジェクトを成功に導く上でシステムエンジニアに必要とされるプロジェクトマネジメントスキルを実践レベルで身につける。演習を通じて、プロジェクトマネジメントスキルを身につけることで、マネジメントの「技法」だけでなく、チーム開発を円滑に進めていくために必要な「留意点」や「視点(目線)」、「勘所」などを理解する。これは、チームのリーダーとしてだけでなく、メンバとしてプロジェクトを推進していく場合にも不可欠な学びとなる。				
到達目標				
PMBOKの知識管理体系の中から、「スコープ管理」、「スケジュール(進捗)管理」、「プロジェクトチームの管理」、「実績報告、リスク(課題)の監視/管理」について、演習と通して、重点的に学習する。これにより、プロジェクトマネジメントの必要性を体感的に覚える。また、プロジェクトが思い通り進まない場合に、原因分析や、その対処方法についても合わせて身につける。				
教育方法等				
授業概要	先ず、オリエンテーションで、プロジェクトマネジメントの本質(重要性)を知り、学習することの意義を理解する。次にPMBOKの知識管理体系を学習し、管理対象や管理方法について知識レベルで身につける。そして授業のおよそ2/3を費やし、並行して実施される「システム開発グループ演習2」で作成したガントチャートを用いた進捗管理演習を行う。週に一度、進捗報告資料や課題管理表を作成し、担当教員を顧客と見立てて定例報告を行いフィードバックを受ける。必要に応じ、遅延や課題に対する対処の検討も行う。			
注意点	品質管理については、テスト技法で重点的に学習することとし、本科目では、演習の対象としない。本科目で行う演習は、「システム開発グループ演習2」と連携しながら行う。「システム開発グループ演習2」と同様に、チームでの作業になるため、メンバとしっかりコミュニケーションをとり、遅刻・欠席等で迷惑を掛けないようにすること。本科目も目的・目標をしっかりと理解し、能動的に授業に取り組むこと。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。			
評価方法	種別	割合	備 考	
	試験・課題	30%	定期試験の結果を評価する	
	小テスト	0%		
	レポート	60%	プロジェクトマネジメント演習の内容、および成果物を総合的に評価する	
	成果発表(口頭・発表)	0%		
平常点	10%	授業に取り組む姿勢を評価する		
授業計画(1回~15回)				
回	授業内容	各回の到達目標		
1回	オリエンテーション	プロジェクトマネジメントの重要性を知り、学習することの意義を理解する		
2回	プロジェクトマネジメント手法(1)	PMBOKの知識管理体系を理解する		
3回	プロジェクトマネジメント手法(2)	PMBOKに定義されている管理項目のうち本科目で重点的に学習する項目を把握する		
4回	プロジェクトマネジメント手法(3)	プロジェクトマネジメント演習の進め方を理解する		
5回	プロジェクトマネジメント演習(1)	進捗報告資料を作成し、科目担当の先生に対し進捗報告を行い、フィードバックを受ける		
6回	プロジェクトマネジメント演習(2)	進捗報告資料を作成し、科目担当の先生に対し進捗報告を行い、フィードバックを受ける		
7回	プロジェクトマネジメント演習(3)	進捗報告資料を作成し、科目担当の先生に対し進捗報告を行い、フィードバックを受ける		
8回	プロジェクトマネジメント演習(4)	進捗報告資料を作成し、科目担当の先生に対し進捗報告を行い、フィードバックを受ける		
9回	プロジェクトマネジメント演習(5)	進捗報告資料を作成し、科目担当の先生に対し進捗報告を行い、フィードバックを受ける		
10回	プロジェクトマネジメント演習(6)	進捗報告資料を作成し、科目担当の先生に対し進捗報告を行い、フィードバックを受ける		
11回	プロジェクトマネジメント演習(7)	進捗報告資料を作成し、科目担当の先生に対し進捗報告を行い、フィードバックを受ける		
12回	プロジェクトマネジメント演習(8)	進捗報告資料を作成し、科目担当の先生に対し進捗報告を行い、フィードバックを受ける		
13回	プロジェクトマネジメント演習(9)	進捗報告資料を作成し、科目担当の先生に対し進捗報告を行い、フィードバックを受ける		
14回	プロジェクトマネジメント演習(10)	進捗報告資料を作成し、科目担当の先生に対し進捗報告を行い、フィードバックを受ける		
15回	クロージング	演習結果について担当教員から学生に総評を伝え、振り返りを実施する		